

第42回

全国学童保育研究集会

2007年11月10日(土) 全体会

国技館(東京都墨田区)

11月11日(日) 分科会

中央大学(多摩キャンパス)

めいせい
明星大学(日野キャンパス)



主催 全国学童保育連絡協議会・東京都学童保育連絡協議会・三多摩学童保育連絡協議会

後援 東京都



全国学童保育連絡協議会／編集・発行

日本の
学童ひろく

働きながらの子育てと、学童保育
の実践と運動に役立つ記事が満載

月刊／定価330円

東京都学童保育連絡協議会へ参加申し込み書 第42回全国学童保育研究集会

申し込み者氏名		電話		F A X	
(ふりがな)		自宅 () -			
		職場 () -			
住所	* 自宅以外の場合は、学童保育名・団体名、様方等を必ず記入してください。				
	〒□□□□ - □□□□□				
参加証送り先 (上記の住所と異なる場合のみ記入してください)					
* 送付先に○をつけてください (自宅 学童保育 勤務先 その他)					
* 自宅以外の場合は、学童保育名・団体名、様方等を必ず記入してください。					
〒□□□□ - □□□□□					
送付方法は右記のいずれかに○をつけてください				一括送付 個別送付	
集会参加回数 ()回	立場 ○印	保護者(OB含む) 議員 児童委員	指導員 学校関係者	児童館職員 その他 ()	自治体担当職員
所属学童保育の所在地 都道府県 () 市区町村 ()					
参加費 3500円 弁当代 800円×__個=__円					
合計 () 円を添えて申し込みます。					
保育の申し込み (子どもの年齢、人数、その他必要事項をお書きください)					
10日(土) 歳					
11日(日) 歳					

き り と り

勤労者レクリエーション協会へ 宿泊申し込み書 第42回全国学童保育研究集会 *必ず、お手許にコピー(控え)を残してください。

ふりがな 申込者名 *(代表者名)			宿泊合計人数	
TEL	自宅 () -	F A X	自宅 () -		
	職場 () -		職場 () -		
連絡先住所 (予約兼確認書送付先)		〒□□□□ - □□□□□			
勤務先 (いずれかに ○をつけて ください)		自 宅 ()			

当社整理番号	*フリガナ * 宿泊者氏名	年齢	性別	11/10	ランク	*タイプ
				第1希望		
				第2希望		
				第3希望		
*〈備考欄〉						

- *まとめて申し込む場合は、代表者を決め、各宿泊者ごとに申し込み書を記入のうえ、同時にお申し込みください(一覧表を作って送っていただいても結構です)。予約確認書は、代表者へ一括してご郵送いたします(ただし、あくまでも先着順の受付となりますので、分宿となる場合があります。予めご了承ください)。
- *ホテルの名簿登録は、カタカナでの登録になりますので、フリガナも忘れずご記入ください。
- *前泊・後泊等ご希望の方は、備考欄に詳しくご記入ください。
- *ベッド・朝食の不要な幼児を同伴する場合は、備考欄へご記入ください。

全体会

11月10日(土) 13:00~16:30 国技館

12:00 受付開始
13:50~14:20 基調報告
14:20~14:50 特別報告
15:00~16:20 記念講演

13:00~13:30 歓迎行事

13:30~13:50 開会行事

全国学童保育連絡協議会

*保護者から *指導員から

幸せになるための学童保育

まつぎみちのすけ

松崎運之助 (元・夜間中学教師)



〈プロフィール〉

1945年、中国東北部（旧満州）生まれ。中学卒業後、三菱長崎造船技術学校・長崎市立高校（定時制）を経て、明治大学第二文学部を卒業。東京都江戸川区立小松川第二中学校夜間部、足立区立第九中学校、同第四中学校夜間部勤務を経て、2007年3月定年退職。夜間中学校を題材とした山田洋次監督の映画『学校』のモデルの一人。現在、講演会等で活躍中。主な著書に『学校』（晩聲社）『青春』『人生』『母からの贈りもの』（教育史料出版会）『母の色えんぴつ』（北水）『幸せになるための学校』（ひとなる書房）『夜間中学があります！』（かもがわ出版)。最新刊は『ハッピーアワー』（ひとなる書房）。

16:30 閉会

18:00~20:30 交流会（別会場）

分科会

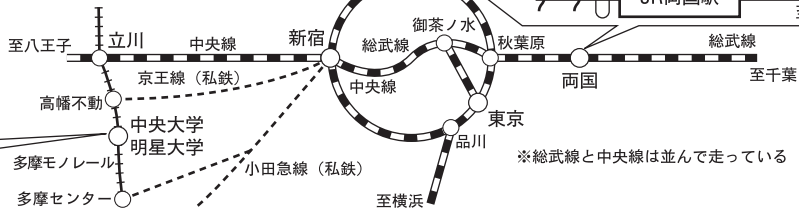
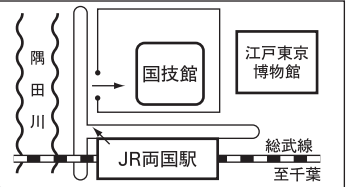
11月11日(日) 9:30~16:00 中央大学・明星大学

8:30 受付開始

9:30~16:00 分科会

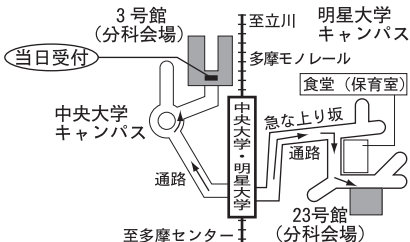
●全体会会場への交通●

- JR総武線「両国」駅下車 徒歩1分
- ・東京駅から両国駅までは8分。JR東京駅から山手線で秋葉原駅へ行き、総武線・千葉行に乗って2駅目。



●分科会会場への交通●

- 多摩モノレール「中央大学・明星大学」駅下車、徒歩3分~7分
- ・中央大学・明星大学駅まで、JR東京駅から60分、JR新宿駅から48分、立川南駅から16分。
- ・多摩モノレールは10分に1本の間隔で運行。
- ・JR東京駅やJR新宿駅からは、中央線（特別快速か快速）高尾行に乗って立川駅下車。徒歩3分で多摩モノレールに乗り換え。多摩モノレール「立川南」駅より「多摩センター」行きに乗って7駅目。



11月11日(日)

9:30~16:00

分科会 ●中央大学・^{めいせい}明星大学

テーマにそって1日を通して学習・交流し、ともに考え合います。希望する分科会ひとつを選んでご参加ください。

分科会		学習・交流のねらい
1 基礎講座 (講義)	①今日の子育てと学童保育の役割	働きながら子育てをする家庭にとって不可欠な学童保育。今日の親の仕事・職場や子育て環境の変化をふまえて、学童保育の役割と必要な条件、あり方を学ぶ。また、「放課後子どもプラン」の動向や、「全児童対策事業」と学童保育の役割と内容の違いも学ぶ。
	②保護者と指導員でつくるよりよい学童保育	<ul style="list-style-type: none"> ・わが子が安心して生活できる学童保育をつくるために、保護者と指導員がどのようにかわりあいながら内容をつくり、運営、条件整備に取り組むか。一人ひとりの保護者の責任と父母会・保護者会の役割を学ぶ。 ・学童保育の新設・増設のすすめ方を学ぶ。
	③指導員の仕事と役割	指導員の仕事とは何かを確かめ、仕事をしていくうえで必要な実務や打ち合わせなどを学ぶ。また、よりよい学童保育をつくっていくうえで指導員に求められる課題を学ぶ。
	④学童保育の役割と大切にしたい生活内容	働く親をもつ子どもたちに保障したい学童保育の生活内容、親が安心して働けるために学童保育で大切にしたいことについて学ぶ。
2 子ども理解と学童保育の生活づくり(実践の交流)	[一人ひとりの子どもの学童保育での生活を保障し、親が安心して働けるために大切にしたいことを、実践を交流しながら学びあう]	
	①子どもをとらえる視点と働きかけ・指導 (3教室)	一人ひとりの子どもをどうとらえるか、子どもへの働きかけ・指導の視点を学びあう。
	②安心できる関係づくりと生活内容 (2教室)	学童保育は子どもたちにとって安心感のある生活の場になっていることが大切。一人ひとりの子どもと指導員の関係づくりを土台とし、子ども同士の関係がつけられるように毎日の生活をつくるうえでの課題を学びあう。
	③学童保育の生活の流れと組み立て (2教室)	継続的で安定した毎日の生活をつくるために、子どもの実態をふまえたうえで、平日の放課後・土曜日・長期休業日など、それぞれの生活の流れや組み立て、年間の見通しをどうつくるかを学ぶ。
	④学童保育の生活づくりとあそび (2教室)	学童保育の子どもたちの生活とあそびの実態を交流しながら、子どもにとってのあそびの意味や指導員のかかわりを学びあう。
	⑤子どもたちの生活を伝え、親とともに育てる (2教室)	学童保育での子どもたちの姿や指導員のかかわりを保護者に伝えることの大切さを交流し、さまざまな保護者の生活や願いを受けとめながら、ともに子どもを育てることの大切さを学ぶ。
⑥高学年を含めた学童保育の生活づくり (2教室)	高学年の子どものおかれている状況や要求をとらえ、高学年を含めた学童保育の生活づくりで大切にしたいことを学びあう。	
運動を交流する分科会		学習・交流のねらい
3	私たちが求める学童保育とは？ ～学童保育の設置・運営基準づくりの課題～	ガイドライン研究会報告書が出され、ようやく国がガイドライン策定に動き始めた。国や地方自治体は、どのような設置・運営基準を策定することが必要なのか。学童保育に必要な条件、私たちの願い・要求を確かめ、設置・運営基準づくりの運動や施策の改善運動を交流する。

	運動を交流する分科会	学習・交流のねらい	
4	① ①父母会・保護者会の役割と活動 (2教室)	<ul style="list-style-type: none"> なぜ父母会(保護者会)が必要なのか、父母会の持つ役割と大切さを学ぶ。 みんなが参加できる父母会、魅力ある父母会づくりを交流する。 	
	② ②父母会と連絡協議会の 結成・活性化	<ul style="list-style-type: none"> 学童保育や保護者の実態と課題を確かめ、市町村・都道府県レベルの学童保育連絡協議会がなぜ必要なかを明らかにする。 父母会・連絡協議会の結成、そして活性化のために何が大事なのかを交流し、学びあう。 保護者・指導員が「あつてよかった連絡協議会」と感じられるような活動や工夫を交流する。 	
5	共同運営の学童保育 －運営と改善の課題－	保護者が実質的に運営を担っている学童保育(地域運営委員会方式を含む)の実態と課題を交流し、行政への働きかけや運営・運動の課題を学びあう。	
6	公立公営の学童保育 －実態と改善の課題－	<ul style="list-style-type: none"> 公立公営の学童保育の実態と課題を明らかにする。 保護者の願いに応える公立公営の学童保育をどうつくるか学びあう。(入所基準・定員、開設時間、指導員の雇用・労働条件、生活内容、父母会活動など) 	
7	児童館と学童保育 －学童保育の役割の確かめ－	<ul style="list-style-type: none"> 児童館・併設学童保育の実態を交流する。 国や自治体の施策の動向を明らかにし、学童保育の確立、児童館とのかわり、運動の課題を学びあう。 	
8	「放課後子どもプラン」と 学童保育	国が推進する「放課後子どもプラン」の考え方・内容・予算、各自治体の受け止めや動向を学びあい、交流しながら、「放課後子どもプラン」の動向をどうとらえるのか、学童保育の拡充の課題は何か、「放課後子ども教室」との連携のあり方などを確かめあう。	
9	「全児童対策事業」と学童保育	余裕教室を活用した「すべての児童のためのあそび場提供事業」である「全児童対策事業」を、「学童保育に代わる事業」として推進している地域の実態と問題点を明らかにし、学童保育固有の役割を確かめると同時に、学童保育施策の拡充の課題を学びあう。	
10	学校内の学童保育 －実態と改善の課題－	学校施設利用について、国や自治体、地域の動向を学び、実態を交流しながら、条件整備の課題と留意すべきことを確かめる。	
11	学童保育施設の改善の課題	ガイドライン策定の動向もとらえながら、施設・設備の実態と課題、改善運動を交流し、学童期の子どものための「生活の場」にふさわしい学童保育の施設・設備のあり方を学びあう。	
12	学童保育の大規模化と 新設・増設の課題	学童保育の大規模化が広がっているなかで、学童保育での子どもたちの生活の実態や指導員の悩みを交流し、大規模化の問題点を明らかにして、新設、分離・増設の必要性和運動の課題を学ぶ。あわせて、「71人以上は分割」という国の方針やガイドライン策定の動向も学ぶ。	
13	自治体の学童保育施策を 委嘱系	① ①自治体施策 －分析の視点と改善運動の課題－	自治体の施策と改善運動についてのレポートをもとに、公的責任とは何かを明らかにしながら、施策分析の視点、施策の改善運動の課題を学びあう。(自治体の学童保育施策、要綱等の資料を60部用意して参加してください)
		② ②学童保育施策をめぐる動きと改善運動	自治体で起きている市町村合併や指定管理者制度導入、人件費を中心とする財政抑制策、自治体の仕事を民間に任せる動きなどの問題点を明らかにし、学童保育施策を後退させずに改善させていくための情報や運動を交流する。
		③ (特設分散会) 指定管理者制度と学童保育 助言者・角田英昭(神奈川自治体問題研究所)	「公の施設」の管理運営で導入がすすめられている指定管理者制度について、学童保育施設への導入の実態や問題点を明らかにし、指定管理者制度に対する考え方・方針と、学童保育拡充のための課題を学びあい、運動を交流する。
指導員にかかわる課題	① ①専任・常勤・複数体制の確立、 労働条件の確立	指導員の仕事を確かめながら、専任・常勤・複数体制がなぜ必要なかを学ぶ。各地の「午後から勤務」「非常勤」「非専任」体制の実態と問題点を明らかにし、労働条件の改善も含めた運動を交流する。	
	② ②指導員の仕事の確立と研修活動	指導員の仕事の内容や特徴を明らかにしながら、日常的・継続的な研修と経験の蓄積がなぜ大切なのかを確かめる。指導員の研修内容を交流し、仕事に必要な研修内容を確認する。「実践を振り返る」ことの大切さと方法について学びあう。	
	③ ③指導員会の職場づくりと地域の 指導員会づくり	学童保育での子どもたちの生活に責任を負う指導員が、毎日の仕事をしていくうえで求められる「職場づくり」の実態を交流し、課題を確かめあう。また、地域(都道府県、地区、市町村レベル)で指導員同士が学びあい、支えあうための指導員会づくりの必要性やあり方について学びあう。	

	講義と交流の分科会	学習・交流のねらい
15 障害児と学童保育	①障害児の受け入れと障害児理解 講師・白石正久(大阪電気通信大学)	L D・A D H Dなども含め、障害児の障害と発達・生活・権利への理解を深め、学童保育に受け入れるにあたっての視点や条件整備の課題を学ぶ。
	②障害児を含めた生活づくり(2教室) —実践の交流と確かめ— 助言者・品川文雄(全国障害児問題研究会) 助言者・竹脇真悟(埼玉・養護学校教諭)	障害児が入所している学童保育での、健常児を含めた生活づくりの実践を交流し、指導員の働きかけ・かかわりで大切にしたいことを学びあう。
	③障害児を対象とした学童保育づくり 講師・村岡真治(障害のある子どもの放課後保障全国連絡会)	地域で障害児が生活し、成長していくことをどう保障するのか。障害児を対象とした学童保育や放課後ケア施設をつくり、充実させていくための課題を学び、実践と運動を交流する。
16	高学年の子どもの生活 講師・山崎隆夫(東京・元小学校教諭)	高学年の子どもの心と身体の特徴・生活・要求を確かめ、高学年の子どもたちに保障したい放課後や家庭の生活を学ぶ。
17	子どもの権利を学ぶ 講師・増山 均(早稲田大学)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの権利とは何か、「子どもの権利条約」を今日の日本の実情とかかわらせながら学ぶ。 家庭・学童保育での、子どもの権利をふまえた子どもとらえ方や育ての課題を学ぶ。 「放課後子どもプラン」や「放課後子ども教室」事業を、子どもの権利条約の視点から問い直す。
18	今日の子どもの問題を考える 講師・村山士郎(大東文化大学)	衝撃的な少年犯罪の発生、いじめ、不登校、引きこもり、学級崩壊などに見られる今日の子どもをめぐる状況を明らかにし、子どもとらえ方を深め、子育てや教育の課題を学ぶ。
19	学童保育と学校(2教室) —保護者と指導員と教師のかかわり— 講師・土佐いく子(大阪・小学校教諭) 講師・渡辺恵津子(埼玉・小学校教諭)	<ul style="list-style-type: none"> 今日の学校・教師・子どもをめぐる問題・動向を学ぶ。 子育ての願いや子どもの生活を保護者・指導員・教師が伝えあう大切さと、それぞれの実践の課題を学ぶ。
20	子どもの発達と学力 講師・梅原利夫(和光大学)	<ul style="list-style-type: none"> 学力とは何か。子どもの成長・発達と学力のかかわり、学力の土台になるものを学ぶ。 子どもの発達を保障するために家庭・学童保育・学校で大切にしたいことを学ぶ。
21	子どもの遊び・学び・仕事 講師・須藤敏昭(大東文化大学)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの成長・発達と遊び・学び・仕事のかかわりを学ぶ。 働くことや働く人への理解や家事労働の大切さを学ぶ。
22	子どもの生活と地域・文化 講師・中西新太郎(横浜国立大学)	今日の若者・子どもの生活と、それを取り巻く地域・文化の状況を明らかにし、若者・子どもの育ちと生活・地域・文化をどう理解したらよいかを学ぶ。そのうえで、保障したい文化的環境や生活とは何かを学ぶ。
23	子どものからだと生活 講師・藤田和也(一橋大学)	<ul style="list-style-type: none"> 今日の子どものからだのおかしさや特徴を明らかにする。 成長期にある子どもの健康な身体づくりについて大切にしたいことを学ぶ。 食生活、生活のリズムなど、家庭や日常の生活のあり方をとらえなおす視点を学ぶ。
24	働きながらの子育てと家族・家庭 講師・池添 素(らく相談所長)	親の仕事・職場の実態が、家庭・子育てにどのように影響しているのかを明らかにしながら、家族・家庭の役割、母親も父親も人間らしく働き、いっしょに子育てするために求められる課題を学ぶ。
25	女性・男性の仕事・職場、働き方を考える 講師・杉井静子(弁護士)	<ul style="list-style-type: none"> 女性の仕事・職場、働く条件の実態を明らかにする。 女性の社会参加や子育てしながら働きにつづけるために、保育の公的保障などの条件整備の課題を学ぶ。 女性も男性も人間らしく働ける労働条件や、働く環境の整備の課題を学ぶ。
26	地域に根ざす学童保育 —安全・安心な街づくりとともに— 講師・山崎丈夫(愛知学泉大学)	<ul style="list-style-type: none"> 学童保育が地域に根ざすとはどういうことかを学ぶ。 町内会・自治会など地域の団体と学童保育のかかわり、働く者と地域のかかわりについて学ぶ。 安全・安心な街づくりの課題について学ぶ。
27	自治体政策と地方自治の課題 —三位一体改革・市町村合併・外部化・自治・分権— 講師・二宮厚美(神戸大学)	<ul style="list-style-type: none"> 三位一体改革と地方「分権」、市町村合併、自治体リストラやアウトソーシング(外部化)など、今日の地方自治と自治体をめぐる政策動向、地方自治と住民運動の課題を学ぶ。 地方自治とは何か、自治体と国の役割と責務について学ぶ。
28	社会保障・児童福祉施策の動向と課題 講師・垣内國光(明星大学)	<ul style="list-style-type: none"> 社会保障・児童福祉、子育て支援、次世代育成支援対策をめぐる国の政策と自治体の施策の動向を学ぶ。 権利としての福祉、働きながらの子育ての保障を確立する運動の課題を学ぶ。

宿泊の申し込み

宿泊を希望される方は、参加申し込みとは別に、宿泊の申し込み書に必要事項をご記入のうえ、下記の旅行社・勤労者レクリエーション協会に、必ずFAX（ファクス）または郵送にて直接申し込んでください。なお、申し込み変更等については、お電話での受付は原則としていたしませんので、必ずFAXをご利用ください。

①宿泊施設と料金

宿泊施設は、JR中央線沿線（御茶ノ水・阿佐ヶ谷・立川・八王子）にて、確保しています。最寄り駅から分科会会場への所要時間は、下記のとおりです。

* 御茶ノ水（JR中央線を利用し、立川駅にて多摩モノレールに乗り換え。約50分）

* 阿佐ヶ谷（JR中央線を利用し、立川駅にて多摩モノレールに乗り換え。約40分）

* 立川（多摩モノレールにて、約20分）

* 八王子（京王線八王子駅より、高幡不動駅にて多摩モノレールに乗り換え。約25分）

ランク・タイプ、宿泊確保場所は、下記のようになっています。ランク・タイプ別にて、受付ます。

ランク	シングルタイプ	ツインタイプ	宿泊確保場所
A	11,000	9,500	立川
B	9,000	8,000	御茶ノ水、八王子
C	8,000	7,000	立川、阿佐ヶ谷
D	7,000	6,000	八王子

* 上記は、大人一人あたりの1泊朝食付き（サービス料・税金込み）の料金です。朝食が不要になった場合でも、払い戻しはいたしかねます。

②申し込み方法

宿泊申し込み書に第3希望までのランクとタイプと必要事項をご記入のうえ、下記旅行社へ、FAXまたは郵送にてお送りください。

③申し込み期限 10月19日（金）

ただし、申し込みは先着順に受け付けさせていただきます。満室の場合は、ご容赦願います。

④送金方法

申し込み締切後、旅行社より「予約確認書兼請求書」を送付しますので、10月26日（金）までに指定口座にお振込みください。

⑤申し込み取消

取消および変更される場合は、お早めにFAXまたは郵送にて旅行社にご連絡ください。ホテルでは受け付けません。なお、申し出の時期によって下記の取消料（キャンセル料）が発生しますのでご了承ください。

10/28～11/ 3	宿泊代金の20%	11/ 4～11/ 8	宿泊代金の30%
11/ 9	宿泊代金の50%	11/10および無連絡	宿泊代金の100%

*取消しの基準は、FAXの送信月日を有効とします。日にちの変わり目は17:00とさせていただきます。

*取消し後の返金は、研究会会当日に会場内のデスクにて行ないます。参加されなかった方は、後日、振り込みにて返金します。

⑥子ども（小学生・幼児）の料金

大人と同料金になります。ただし、ベッド・朝食が不要な幼児は無料となります。申し込み書の備考欄に幼児の方の年齢とその旨をご記入ください。

宿泊申し込み先

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-46-13 ホリグチビル 6階

勤労者レクリエーション協会 担当・近藤まで

TEL 03-3984-0401 FAX 03-3984-0407 Email: kinrec2@sepia.ocn.ne.jp

営業時間：月～金 10:00～17:30（土・日・祝祭日休業）

申し込み締切日 2007年10月19日（金）

おねがい

レポート 資料

・分科会で参加者が自主的にレポートや資料を用意されることは大歓迎です。ただし、印刷は会場ではできませんので、必ずご自身で事前に印刷して持ち込んでください。（印刷枚数は3日前までに全国学童保育連絡協議会まで問い合わせください）

・分科会会場では、まず世話人にレポート持ち込みの旨を伝え、世話人を通して参加者に配布してもらってください。また、1日目（土曜日）に世話人に渡したいので、できましたら1日目に全体会本部に2部お持ちください。

・会場の都合により、会場内で書籍等を販売することはできません。

・会場内では自粛してください。多くの参加者が会場内で署名・カンパ活動・チラシ配布などを行いますと、会場が混乱しますのでご協力ください。

・全体会場、分科会場ともに駐車場はありません。

販売

チラシ配布
署名活動
カンパ活動等

駐車場

第42回全国学童保育研究集会のご案内

- と き 2007年11月10日(土) 13:00~16:30 全体会
11月11日(日) 9:30~16:00 分科会
- と ころ 全体会 国技館(東京都墨田区)
分科会 中央大学(多摩キャンパス)・^{めいせい}明星大学(日野キャンパス)
- 参加費 3500円(資料代含む)
* 1日だけの参加も両日参加も、いずれも同額です。
* 11月6日(火)以降にキャンセルした場合は返金できません。
- 弁 当 代 800円 (11日のみ。会場周辺には飲食店などの店舗がありませんので、昼食が必要な方は必ず申し込んでください)
- 参加申し込み方法

- * 現金書留を利用される場合は、「参加申し込み書」に必要事項を記入のうえ、参加費(必要な方は弁当代も)を添えて、現金書留で下記宛てにお送りください。
- * 郵便振替を利用される場合は、参加費(必要な方は弁当代も)を下記の口座に振り込んでいただいたうえで、郵便振替の受領証のコピーと必要事項を記入した「参加申し込み書」とあわせて下記宛てにファクスか郵送でお送りください。

参加申し込み先

東京都学童保育連絡協議会

〒170-0005 豊島区南大塚 3-37-10

TEL 03-5951-2795 FAX 03-5951-2790

(郵便振替) 口座番号 00150-9-317500

口座名義 東京都連協

* 当日受付もありますが、混雑することがありますので、宿泊希望がない場合でも事前に参加の申し込みをお願いします。

- 宿泊の申し込み
* 参加の申し込みとは別に、別記の要領にそって申し込んでください。
- 保 育 * 3歳以上は用意しますが、十分ではありませんので、できるだけ地域で対応してください。保険料・おやつ代は会場でいただきます。
* 必ず事前に申し込んでください。(年齢・利用する日、その他、必要なことがあれば申し込み書にご記入ください)
- 問い合わせ ◇参加申し込みについては、東京都学童保育連絡協議会へ。
◇宿泊については、勤労者レクリエーション協会へ。
◇研究集会の内容については、全国学童保育連絡協議会へ。

全国学童保育連絡協議会

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-26-13

TEL 03-3813-0477 FAX 03-3813-0765

E-mail: zghrk@xui.biglobe.ne.jp

http://www2s.biglobe.ne.jp/~Gakudou

(このリーフレットは、ホームページからもダウンロードできます)

ご記入いただいた個人情報は、この研究集会に関する問い合わせのほか、各種受講案内や刊行物案内をお届けするために利用させていただきます。全国学童保育連絡協議会の個人情報保護方針にもとづき、ご本人の許可なく第三者への提供は行いません。